

森林環境保全整備事業請負契約書

(案)

- 1 事業名 森林環境保全整備事業（保育間伐活用型外 東濃 3 上村恵那）
- 2 事業場所 上村恵那国有林1064ほ林小班外
- 3 請負予定数量 別紙事業内訳書のとおり。
- 4 事業期間 契約締結日の翌日から
令和 6 年 1 2 月 2 0 日まで
ただし、作業種別又は箇所別の事業期間は、別紙事業内訳書のとおり。
- 5 請負予定金額 —
(うち取引に係わる消費税及び地方消費税の額 —)

- 6 選択条項 別冊約款中選択される条項は次のとおりである。
(選択されるものは○印、削除されるものは×印。)

適用削除の区分	選択項目	選択条項
×	契約保証金の納付	第 4 条第 1 項第 1 号
×	契約保証金の納付に代わる担保となる有価証券の提供	第 4 条第 1 項第 2 号
×	銀行、発注者が確実と認める金融機関等の保証	第 4 条第 1 項第 3 号
×	公共工事履行保証証券による保証	第 4 条第 1 項第 4 号
×	履行保証保険契約の締結	第 4 条第 1 項第 5 号
×	支給材料及び貸与品	第 1 5 条
×	前金払 分の 以内	第 3 5 条第 1 項
×	中間前金払	第 3 5 条第 3 項
○	部分払 5 回以内	第 3 8 条
×	国庫債務負担行為に係る契約の特則	第 4 0 条

(注) 国庫債務負担行為に係る契約にあつては別紙を添付する。

- 7 支給材料及び貸与物件

品名	品質規格	数量	引渡予定場所	引渡予定月日

8 特約事項

1) 【伐倒】における約款第32条第8号（検査及び引渡し）は、測点等を利用した面積確定により行う。

上記の事業については、発注者と請負者は、各々の対等な立場における合意に基づいて、本契約書及び令和〇〇年〇〇月〇〇日付けで交付した国有林野事業製品生産請負事業請負契約約款によって公正な請負契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

また、請負者が共同事業体を結成している場合には、請負者は別紙共同事業体協定書により契約書記載の事業を共同連帯して請け負う。

本契約の証として本書2通を作成し、当事者記名押印の上、各自1通を保有する。

令和 年 月 日

発注者 住所 岐阜県中津川市付知町8577-4
分任支出負担行為担当官
氏名 東濃森林管理署長 木島 伸悟

請負者 住所 ○○○○○○○○○○○○○○○○
氏名 ○○○○ ○○○○

事業内訳書

国有林名	上村恵那					保育間伐(活用型)	上村恵那	複層伐(皆伐)	東濃3上村恵那									
林小班	1064ほ	1078い	1078は	1078ほ	1080ほ		1064ほ											
伐採種	保育間伐(活用型)					計	複層伐(皆伐)	計	合計									
面積(ha)	7.81	2.55	3.46	4.61	1.21	19.64	2.00	2.00	21.64									
伐採率(%)	35%	35%	34%	34%	35%		100%											
林齢	62	85	60	61	67		62											
事業期間						令和6年12月20日												
保安林種						土砂流出防備保安林												
樹種	本数	材積m ³	本数	材積m ³	本数	材積m ³	本数	材積m ³	本数	材積m ³	本数	材積m ³	本数	材積m ³	本数	材積m ³	本数	材積m ³
スギ	1,392	830.99	130	62.81	1,013	405.51	378	163.53	204	125.11	3,117	1,587.95	950	427.89	950	427.89	4,067	2,015.84
ヒノキ	1,710	406.85	503	123.75	169	41.69	2,162	738.57	216	74.09	4,760	1,384.95	501	191.92	501	191.92	5,261	1,576.87
その他N			112	23.88							112	23.88					112	23.88
その他L	63	13.35	70	13.06	68	11.08					201	37.49	48	6.00	48	6.00	249	43.49
合計	3,165	1,251.19	815	223.50	1,250	458.28	2,540	902.10	420	199.20	8,190	3,034.27	1,499	625.81	1,499	625.81	9,689	3,660.08
予定数量	870		160		330		580		140		2,080		470		470		2,550	

予定数量に同時販売材は含まれない

請負に付する事業及び内訳

事業所名		岩村森林事務所	
事業名		森林環境保全整備事業(保育間伐活用型外 東濃3上村恵那)	
事業場所		上村恵那国有林	
		1064ほ林小班外	
材種		素材	
検査区分		生産完了	中間工程
予定数量	数量 (m ³)	2,550	
完成期限		令和6年12月20日	
作業工程及び数量		伐倒 集材 造材 運材(委託販売) 運材(システム材) 山元(システム材) 保育間伐 伐倒面積	3,660 m ³ 2,550 m ³ 2,550 m ³ 70 m ³ 1,820 m ³ 660 m ³ 19.64 ha
その他		複層伐【皆伐:保護伐】 2.00 ha 素材の品質区分により、販売方法の変更があります。	

請負に付する事業及び内訳

1. 事業名 森林環境保全整備事業（保育間伐活用型外 東濃3上村恵那）
2. 数量の確認
 - (1) 検査場所
いずれも所定の作業が完了した箇所とする。
 - (2) 検査方法
生産及び造林作業完了工程については、甲の命じた検査職員が契約書、契約約款、仕様書に基づき行うものとする。
3. 作業順序
作業は提出された事業計画表に基づき行うものとする。
なお、細部については、別途監督職員が指示する。
4. 採材寸法
別紙 造材寸法書に準ずるものとする。
なお、需要動向に応じた造材寸法については、別途指示する。

事業計画に関する技術提案

(事業名：)

会社名：

- 標記の技術提案については以下のとおり提案します。なお、認められない場合には、標準案に基づき実施します。
- 標記の技術提案については以下のとおり提案します。なお、認められない場合には、入札参加を希望しません。
- 標記については、標準案に基づき実施します。

※ いずれかを■にすること。

項 目	具体的な対策方法等
事業計画上の考慮事項 についての工夫・提案	
工程管理についての工夫 ・提案	
環境に配慮した路網の 作設について工夫・提案	
品質管理についての工夫 ・提案	
安全管理についての工夫 ・提案	

(備 考)

- 1 受注者は上記の提案について、誠実に対応するものとする。
- 2 原則として、各項目の施工上の工夫・提案に関して入札公告、入札説明書及び工事仕様書で要求されている性能等を超える具体的で明確な提案（「努める」「努力する」等の曖昧な提案ではないもの）を記載することとし、2枚程度までとする。
- 3 参考図書を添付する場合は、別に2枚程度までとする。

特記仕様書

1 伐採方法等

- (1) 保育間伐活用型箇所については列状間伐を基本とし、具体的には監督員の指示に従うものとする。
- (2) 伐倒木の伐採高は根際とし、残存立木を損傷しないように留意すること。
- (3) 伐倒木の処理について
 - ① 伐採率を遵守すること。
 - ② かかり木となった伐倒木は、できる限り外し倒伏させること。
 - ③ 打出し木や枝条等の林地残材の転落防止等に努めるとともに、作業道の路肩に極力集積しないこと。
 - ④ 歩道及び林道付近では、通行に支障のないよう伐倒木を取り除くこと。
- (4) 事業区域内に生育する天然有用樹については、作業に支障のないもの、植栽木（将来優良木）の成長を阻害しないと思われるものについては残存させるものとし、具体的には監督員の指示によること。
- (5) つるは、確実に除去すること。
- (6) 1064ほ林小班の皆伐箇所については、次年度以降、造林事業（地拵・植付等）を行うことから、特定の箇所に末木枝条を堆積させないこと。
- (7) 1078林班は、林道上での作業が多くなることから、他事業の事業体と疎通を図ること。
- (8) 1080林班は、近隣にて鏈ヶ入谷（本流）復旧治山工事が実行中であり、事業体との調整を図ること。

2 素材運搬

- (1) 素材運搬等については、貨物自動車運送事業法を遵守すること。
- (2) 故意又は過失その他請負事業者の責に帰する理由により、運搬中の物件を滅失又は損傷した場合には森林管理署長の指示することに従い、その物件の代金を納付し損害を賠償しなければならない。
- (3) 県道等公道を運行する際は、各道路規格に基づき運行するとともに、運搬等による路面の損傷等が発生しないよう対策を講じること。
また、国有林外の林道上部に通る送電線等、運搬に支障のある場合は、乙の負担により保護等を実施し運搬に影響のないように事業を実施すること。
万が一損害等が発生した場合は乙による修繕等を行うものとする。

3 その他

- (1) 法令制限林の伐採許可・作業許可等の協議が必要なため計画的な事業実行に努めること。法令制限林の協議が整うまで該当地は着手出来ないものとする。
- (2) 水質汚濁等の問題については、事業計画及び事業の実行の各段階において十分に検討し、周辺地域の環境保全に努めること。
乙の責により汚濁等が発生した場合は、乙において汚濁等の除去及び防止並びに下流の関係者への説明を遅滞なく講じること。
- (3) 乙は別紙技術提案について、採用提案（下線の部分）を履行するものとし、その他提案したものについては誠実に対応すること。
- (4) 採材については、造材寸法書に基づき実施するものとし、細部については監督員の指示に従うものとする。また、付加価値を付けた有利販売をするため、山土場等に材を滞留させないように新鮮材供給に努めること。
- (5) 本事業の運材については、令和6年12月3日の火曜日までに指定土場への搬入を終えること。
- (6) 発注者又は発注者が指定する第三者が行う会議、現地検討会等の開催については、監督員と調整のうえ協力すること。

上記によりがたい場合は、監督員の指示に従うものとする。

特記仕様書（森林作業道作設）

（中部森林管理局標準例）

本事業で作設する路網は継続的に用いられる森林作業道によること。

森林作業道の作設にあたっては、路体は堅固な土構造によることを基本とし、構造物は地形・地質、土質、人家等との位置関係等の条件から、必要な箇所限定して設置するものとするほか、下記によること。

記

第1 路線計画

1 計画

路線（線形）については、次に配意する。

①車輻系の作業システムの効率性が効果的に引き出されるよう配置する。

なお、土砂の流出又は林地の崩壊により下流に被害を生じさせるおそれがある場合には、森林作業道によらない架線集材での作業システムを検討する。

②地形・地質の安定している安全な箇所を通過するようにする。

③地形に沿った屈曲線形とする。

④排水を考慮した波形勾配とする。

2 幅員等

幅員は3mまでとする。ただし、林業機械を用いた作業の安全性、作業性の確保から必要な区間に限って、0.5m程度の余裕を付加することができる。

3 縦断・横断勾配及び排水計画

縦断勾配は、集材又は苗木等の運搬作業を行う林業機械等が、木材等を積載し安全に上り走行・下り走行ができることを基本とし、概ね 10° （18%）以下とし、やむを得ない場合は、短区間に限り概ね 14° （25%）程度とする。

また、縦断勾配を緩やかな波状にすることにより、こまめな分散排水を行うこととし、排水先は安定した尾根部や常水のある沢にする等して、路面に集まる雨水を安全、適切に処理する。

横断勾配は、原則として水平とするが、水平区間など危険のない場所で、横断勾配の谷側をわずかに低くする排水方法を採用する場合は、必要に応じて丸太等による路肩侵食保護工、盛土のり面の保護措置をとる。

なお、木材積載時の下り走行におけるブレーキの故障や、雨天や凍結時のスリップによる転落事故を防止するため、カーブの谷側を低くすることは避け、原則として水平とする。排水はカーブ上部の入口付近で行う。（又は、事業終了時にカーブの出口に水切り等を行う。）

第2 施工

1 切土

切土工は、発生土量の抑制と切土のり面の安定が図られるよう適切に行う。

切土高は、切土のり面の安定や機械の旋回を考慮し1.5m程度以内に抑えることに努める。局所的に切土高が高くなる場合には、土質に応じた切土のり面勾配の工夫や現地に適した構造物の設置等を検討する。

切土のり面勾配は、管内の施工実績等を勘案し、直切りを原則とする。ただし、土質、地質に応じては、また、切土高が著しく高くなる場合には、6分、3分（岩石）とする。

2 盛土

盛土については、堅固な路体をつくるため、地山に段切りを行った上で、概ね30cm程度の層ごとにバケット及び履帯を用いて十分に締固める。

なお、強度を有しない土質の場合は、盛土・地山を区分せず、路体全体を概ね30cm程度の層ごとに締固め、路体全体としての強度を得る。

盛土のり面勾配は、概ね1割とする。盛土高が2mを超える場合は、1割2分程度とする。

ヘアピンカーブの盛土箇所では、締固めを繰り返し行ったり、構造物を設けるなどして、路体に十分な強度をもたせる。

盛土の土量が不足する場合は、山側から谷側への横方向での土量調整だけでなく、縦方向での土量調整も行う。

3 構造物等

構造物は、安全確保の観点や地形・地質等から、必要に応じて設置する。現地発生資材を活用した丸太組等について、利用の頻度やコスト等を考慮して選定する。

4 伐開

伐開は、幅員に応じた必要最小限の幅とする。そのため、支障木の伐倒は、安全を確保した上で、出来る限り森林作業道作設と同時に実施する。

第3 周辺環境への配慮

人家、道路、鉄道その他の重要な保全対象への土砂、転石、伐倒木等が落下しないようにするほか、希少な野生生物の生息・生育情報を知ったときは必要な対策を検討する。

第4 その他

1 表土、根株の扱い

はぎ取り表土や根株を、盛土のり面保護工として利用する場合は、土質、根株の大きさ、萌芽更新の容易性等を吟味し、地山（心土）を概ね30cmの層毎にバケット等で締め固める際に、土羽工の一部として用いること。

なお、表土は植生回復を促すため、上記各層の間の土羽表面に挟み込むようにして十分締め固める。

また、根株は表土や地山（心土）等と一緒に十分締め固めるとともに、作業に支障のないよう固定する。

根株を丸ごと路体内に完全に埋設すること等は、締め固めが難しくなるので避ける。

また、土質、根株の大きさ、集材方法、山腹傾斜等から、盛土のり面保護工に向かない場合は、安定した状態にして自然還元利用等を図る。

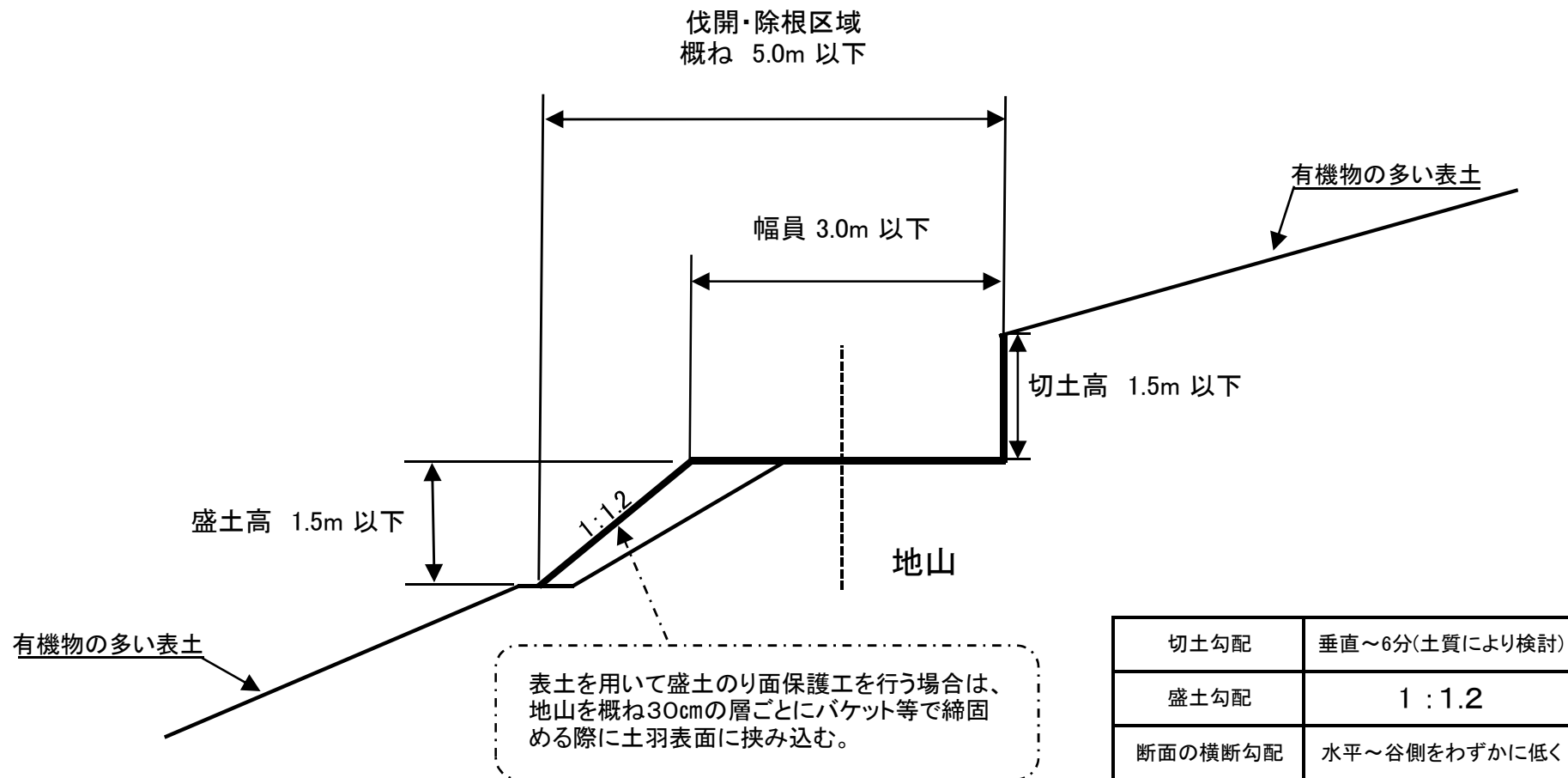
2 事業中断及び終了時

事業中断及び終了時において、洗掘を防ぐための水切りを登坂部分等に入れる。

3 その他

この特記仕様書は、森林作業道作設指針（平成22年11月17日付け22林整整第656号林野庁長官通知）に基づき、中部森林管理局管内の地形・地質、土質や気象条件、路網開設実績等を踏まえ、定めたものである。なお、この仕様書に定めのないものについては、森林作業道作設指針によることを基本とする。

森林作業道標準横断図



特記仕様書 (林地保全に配慮した施業推進)

森林作業道を作設する場合の製品生産事業の実行にあたっては、特記仕様書（森林作業道作設）及び森林作業道作設指針に沿って実施しているところであるが、林地保全に配慮した施業を担保するため、次に掲げる事項を定めるものとする。

- (1) 請負者は、森林作業道作設指針に即して特記仕様書（森林作業道作設）を遵守しなければならない。
- (2) 請負者は、作設する森林作業道の路線計画を明示した図面を含めた事業計画を森林管理署長等に提出し、その確認を受けなければならない。
- (3) 請負者は、(2)で確認を受けた森林作業道の計画に変更が生じたときは、その変更内容について森林管理署長等に提出し、その確認を受けなければならない。
- (4) 森林管理署長等は、路線計画と異なる森林作業道を施工した場合等、請負者の責に帰すべき事由により、林地崩壊が発生し又は発生する可能性が高い等の林地保全上特に問題があると認めるときは、請負者の負担において盛土の転圧、排水溝の設置等の必要な措置を命じることができる。この場合において、請負者は森林管理署長等の命に応じ、必要な措置を講じなければならない。

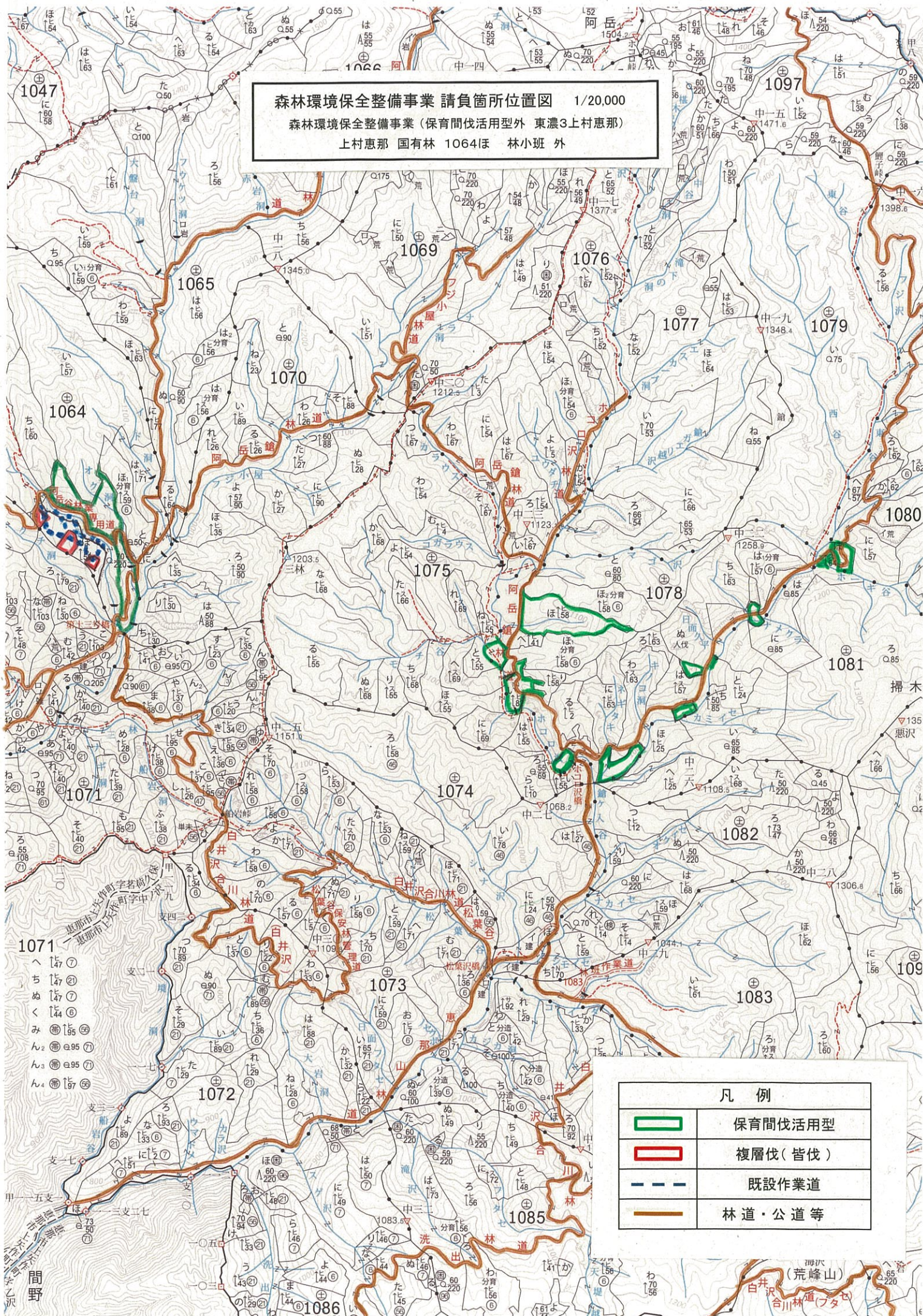
造材寸法書




東濃森林管理署

樹種	優先順位	長級 m	径級cm	適用	用途
スギ	1	5.0	30上	通直良材元玉	割柱等
	2	4.0	22上		一般建築用材
	3	3.0	16上		柱適材
	4	4.0	16上		
	5	2.0			〃
ヒノキ	1	6.0	16上	通直良材	大黒柱・通し柱
	2	4.0	24上	通直良材	一般建築用材
	3	3.0	14~22		柱適材
	4	4.0	13下		一般建築用材
	5	2.0			〃
サワラ	1	4.0	20上		一般建築用材
	2	2.0			〃
カラマツ	1	4.0	16上		一般建築用材
	2	2.0			〃
*原則4 m採材とするが、市況等により別途指示					
その他L	1	4.3	30上	通直良材	一般建築用材
	2	2.1	20上		〃
採材最小径	人工林 N 6 cm L 6 cm				
延寸	人工林 10 cm 元特殊延寸は60 cm未満				
特殊採材	その都度指示				
これによりがたい場合は、別途指示による。					

令和6年2月1日適用

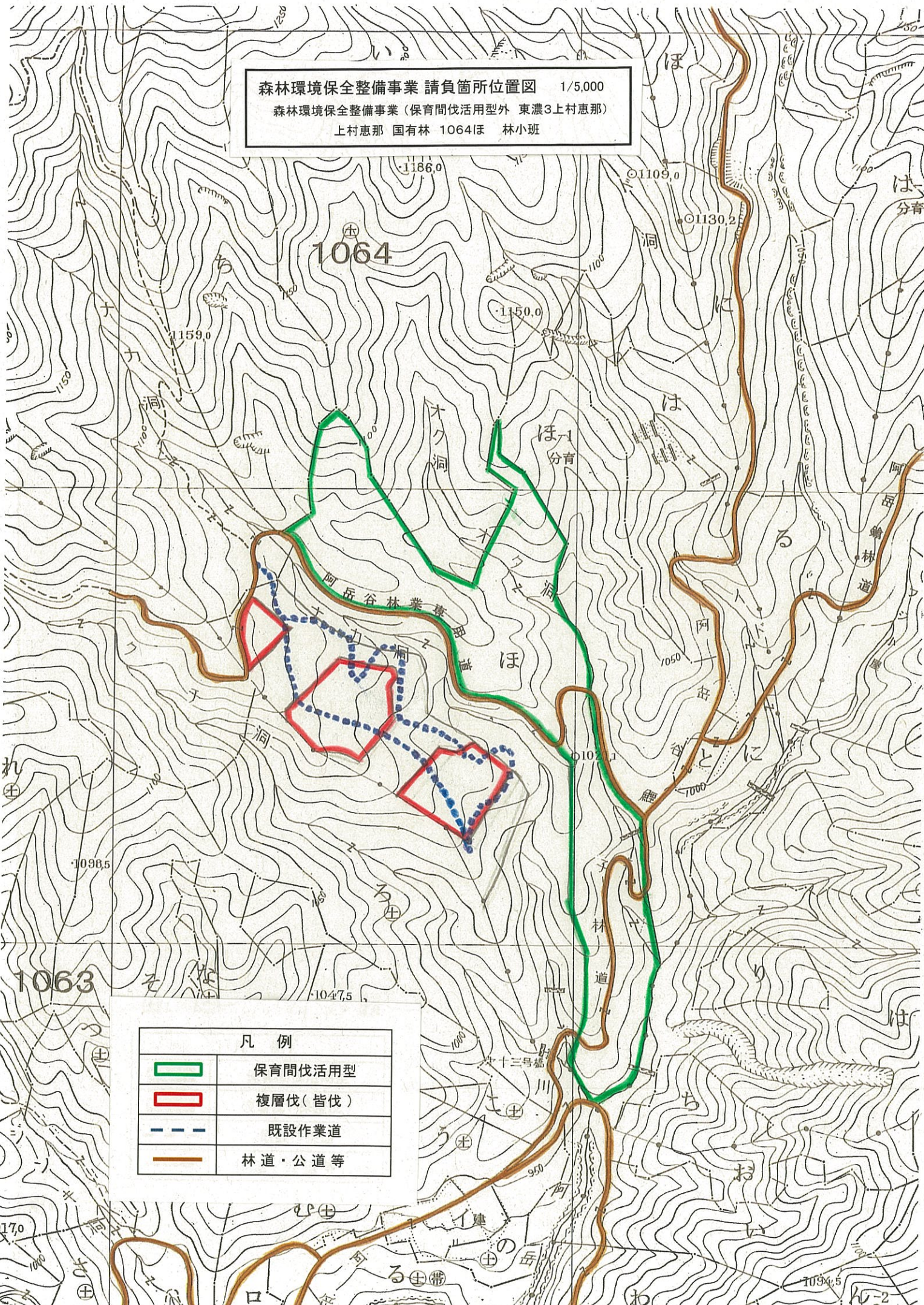
森林環境保全整備事業 請負箇所位置図 1/20,000
 森林環境保全整備事業（保育間伐活用型外 東濃3上村恵那）
 上村恵那 国有林 1064ほ 林小班 外




凡例	
	保育間伐活用型
	複層伐(皆伐)
	既設作業道
	林道・公道等

森林環境保全整備事業 請負箇所位置図 1/5,000

森林環境保全整備事業（保育間伐活用型外 東濃3上村恵那）
上村恵那 国有林 1064ほ 林小班



凡 例	
	保育間伐活用型
	複層伐(皆伐)
	既設作業道
	林道・公道等

